

## 流域治水の具体的な取組み内容

下記のとおり流域治水の具体的な取組み内容を報告します。

(企業等名称：株式会社カネシロ)

目的や背景	<p>地球温暖化の影響で異常気象が続いており、大雨特にゲリラ豪雨に対して「雨水貯留」を実践するため、雨水タンクを設置しました。溜った雨水は、普段、花壇への散水、ほこり紙粉飛散防止用の散水、洗車に使用しています。</p> <p>また、強風、落雷等で停電になった場合の非常用電源を確保し、対応できる体制にしました。</p> <p>今後も、流域治水の取組みを進めて行く考えです。</p>
取組み内容	<p><b>【雨水タンクの設置】</b></p> <p>1) 本社工場内に、8 m<sup>3</sup>タンク (2022年7月9日設置)、2 m<sup>3</sup>タンク × 2個 (2022年7月26日設置) を設置しました。これらのタンクには、屋根に降った雨が樋を通して入るようパイプを設置しました。</p> <p>2) これらの雨水は、0.6 m<sup>3</sup>~1.0 m<sup>3</sup>のタンクに移し、水中ポンプで汲み上げ使用しています。</p> <p><b>【非常用電源の確保】</b></p> <p>1) 本社工場に下記の発電機を設置しています。(2022年4月16日設置) この発電機で本社事務所を賄うことが可能です。 デンヨー株式会社製 (型式 DCA-45LSKE-D2) 三相4線 : 220V 45 kVA 寸法・重量 : 幅 880mm × 高さ 1,350mm × 奥行 1,930mm</p> <p>2) この他、車両に搭載している発電機 (三相4線 : 220V 25kVA) 1台、携帯用発電機 (100V 2.8kVA) 4台を各事業所に配置している。</p>

写真1. 8 m<sup>3</sup>雨水タンク



写真2. 2 m<sup>3</sup>雨水タンク×2個



取組状況が  
分かる写真

写真3. 散水設備 (0.6 m<sup>3</sup>タンクと水中ポンプ)



写真4. 緊急用発電機



写真5. 車両搭載発電機 (左側)、携帯用発電機 (右側)



その他

今後も、企業BCP、さらにはSDGsに繋がる流域治水の取組みを進めて行く考えです。